

スピーキング活動を中心にしたポップカルチャーの授業の実践
Designing and Implementation of a Speaking Enhanced Pop Culture Course
University of Missouri-St. Louis Keiko Ueda

本発表は 2018 年秋学期に中西部の大学で開講されたスピーキング活動を中心にした授業の実践報告である。筆者の勤務校の日本語課で 2016 年よりスピーキング活動を中心にした授業が開講されることになり、筆者が担当教員としてコースデザインを行うことになった。提示されたコース概要は、コミュニケーション及びプレゼンテーションスキルを伸ばす活動を行うこと、日本事情・文化をトピックとした内容重視であること、それに加え二年生終了以上の学生が誰でも履修することができるので、レベルに差に対応できるカリキュラムにする必要があった。2 回目の開講となった 2018 年秋学期はトピックをポップカルチャーとし、主教材として『ポップカルチャー NEW & OLD: ポップカルチャーで学ぶ初中級日本語』（花井, 2017）を使用した。本発表では、具体的なカリキュラムの内容、スケジュール、終了後のアンケートを基にした学生の反応、今後の課題などについての考察を述べたい。

